

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市中央市場の運営について

当施設は、京都の「食の流通拠点」として、全国に先駆けて昭和2年に開設され、全国の中央卸売市場の見本となった施設です。近年では、消費者の「食」に対する安全・安心への意識が高まる中、市民に信頼される安全・安心な市場づくりに取り組んでいます。

施設の収入と支出

<支出>

運営経費 18.1 億円 (A)

管理運営費 13.6 億円	職員 人件費 3.8 億円	維持 改修費 0.7 億円
------------------	---------------------	---------------------

<収入>

収入総額 15.2 億円 (B) (A) - (B)

使用料等 (※) 15.2 億円 (84%)	
------------------------------	--

(※) 支出を上回る収入は市場整備費に充当

差額 2.9 億円 (16%)
(公費で負担)

〔いずれも概数
0.1 億円単位で四捨五入〕

- 施設を利用しない方も含めた市民の負担（公費負担）により、現行の使用料等で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。